

登山の実施結果について(令和7年7月3日～同年9月3日実施分)

【山岳部】

№	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
1	宇都宮高等学校	根名草山登山	根名草山(日光市)	令和7年7月12日	1日(日帰り)	10名	3名 湯澤真一 鶴見勝司 大和田哲也	宇高(6:45)・・・金精峠登山口(6:45)・・・金精峠(9:11)・・・温泉ヶ岳分岐(10:05)・・・念仏平避難小屋(11:00)・・・根名草山(11:47)・・・避難小屋(12:47)・・・金精峠(14:25)・・・登山口(14:55)・・・宇高(16:45)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・夏場の登山であるため、熱中症対策(水分補給のタイミング・塩分や糖分の摂取について・着衣の調節)について十分指導した。 ・金精峠までの急登には鉄梯子やロープが設置してあるが、残置されたロープは強度が保証されていないため、体重など預けず、岩場やしっかりとした立木などを使いながら安全に登ることを確認した。 ・金精峠までの上りは崩落地の通過などを含む危険箇所があることから、全員ヘルメットを装着させた。 ・崩落地通過の際には、通過を終えた者の上からの落石を監視させるとともに、自らも落石を誘発させないように慎重かつ迅速に通過するよう注意した。 ・トラバース道は狭く笹も生い茂っていて見通しも悪いことから、慎重に歩かせて谷側に滑落しないように注意した。	特になし	特になし	特になし	問題なし
2	宇都宮高等学校	那須岳登山	那須岳(那須町)	令和7年7月26日	1日(日帰り)	14名	4名 湯澤真一 鶴見勝司 富永孝昭 渡部裕次郎	学校(6:45)・・・峠ノ茶屋駐車場(8:45)・・・峠ノ茶屋跡(9:20)・・・朝日岳分岐(9:55)・・・朝日岳(10:10)・・・峠ノ茶屋跡(11:00)・・・牛ヶ首(11:20)・・・茶臼岳(12:25)・・・峠ノ茶屋跡・・・(13:15)・・・峠ノ茶屋駐車場(13:50)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・熱中症対策として、着衣の調整や水分・塩分・糖分補給に注意させた。 ・那須岳は活火山であること、落石に注意すべき箇所もあることからルートは常時着用させた。 ・朝が峠のトラバースは、他の登山者とのずれ違いや上からの落石に注意しながら通過させた。 ・噴気孔付近は風向きに注意し、付近に停滞しないように注意を促した。 ・茶臼岳へのガレ場の下り下りは浮き石に注意し、落石を起こさないように注意した。	特になし	特になし	特になし	問題なし
3	宇都宮高等学校	北岳 夏山合宿	北岳(山梨県南アルプス市)	令和7年8月3日～5日	2泊3日	14名	3名 湯澤真一 鶴見勝司 富永孝昭	【1日目】学校(6:30)・・・バス移動・・・広河原(12:00)・・・広河原の指定キャンプ地で幕営(12:45) 【2日目】3時半起床、朝食準備、幕営地出発(5:30)・・・白根御池小屋(8:05～25)・・・小太郎尾根分岐(11:40)・・・北岳肩ノ小屋(12:20～13:25)幕営準備・・・北岳(14:00)・・・北岳肩ノ小屋(14:50) 【3日目】3時半起床、4時朝食準備、幕営地撤収(5:45)・・・白根御池(8:00)・・・広河原(10:20)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	1日目:晴れ一時雨 2日目:晴れ 3日目:雨のち晴れ 3日間とも0cm	・気温が高く、熱中症が心配されたので、着衣の調整や水分・塩分・糖分補給に注意した。 ・上りは、1時間に10分のペースで小休止をこまめに取り、水分と塩分を補給させた。 ・草スベリ以降は急登と岩場の連続であり、ヘルメット着用を指示した。 ・人数のパーティなので、隊列が分列しないようにペース配分には注意した。 ・幕営地でのマナーの遵守を意識させ、他の登山者とのトラブルに発展しないよう指導した。 ・隊での行動なので、時間厳守が重要であること、自分勝手な個人行動が隊の安全にも影響することを確認した。	・引率責任者と生徒1名が軽い熱中症症状を呈し、草スベリの終盤で通常の行動継続が困難となったが、応急処置を行ない、木陰で20分ほど休憩の後、2名の荷物を隊で分担するなどしてその後の行動が継続できた。 ・テントごとにガスバーナーとガス缶を持参したが、うち一つのガス缶が満タンではなく、途中で無くなってしまい、最終日の朝の炊事に支障を来した。 ・共同装備確認時にガスの重量を計測しなかったことや予備を持参しなかったことが原因である。	・引率責任者にはこれまでの経験により登山行動中に自らが熱中症を発症したことがないという過信や汗の量の過小評価から水分と塩分の摂取量が不足していたこと、生徒は荷物の軽量化やバッキング技術が不十分で、疲労が蓄積していたことが原因と考えられる。	・休憩時には確実に水分と塩分を摂取することの徹底と、熱中症対策の経口補水液、芍薬甘草湯などを各自でも持参させるなどする。 ・共同装備品の確認時に装備品の状況を確認すること、および予備のガス缶も持参することの確認を徹底する。	問題なし
4	栃木女子高等学校	令和7年度 三年生引退登山	社山(日光市)	令和7年7月20日	1日(日帰り)	19名	3名 小林武夫 池間明徳 増山明美	栃女6:00＝借上バス＝歌が浜駐車場7:50・・・阿世湯9:00・・・阿世湯峠9:25・・・阿世湯社山山頂11:20・・・阿世湯峠12:30・・・阿世湯12:45・・・13:50歌が浜駐車場15:20＝借上バス＝栃女16:10	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ時々曇り 0cm	・気温が上昇する予報であり、熱中症を予防するためにも、出発前に十分水分をとるように指導した。 ・阿世湯峠からの登りでは、生徒がかなり汗をかいていたので、こまめに小休止をとり山頂を目指した。 ・下山の際には、足元を状況をよく見ながら慌てずに歩くように指示をした。	特になし	特になし	特になし	問題なし

登山の実施結果について(令和7年7月3日～同年9月3日実施分)

【山岳部】

№	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件	積雪量(下段)		具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
5	大田原高等学校	夏の那須岳ツアー(三本槍岳・朝日岳)	三本槍岳 朝日岳 (那須塩原市ほか)	令和7年 7月12日	1日 (日帰り)	10名	2名 高梨和幸 小磯怜士	駒止の滝北温泉駐車場6:00、登山行動開始6:30…林道出合7:25…スキー場分岐8:00…赤面山分岐9:10…北温泉分岐9:30…三本槍岳10:00…昼食(北温泉分岐付近)10:30…北温泉分岐付近出発10:50…北温泉分岐11:05…分岐11:40…朝日岳分岐11:45…朝日岳12:00…朝日岳分岐12:10…峰の茶屋12:40…峠の茶屋13:15終了	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	曇り時々 晴れ 0cm	・山行前日の7/11(金)にミーティングを実施し、落石の危険がある場所では必ずヘルメットをつけることや緊急時のエスケープルートなど、さまざまなリスクに対して事前に示し合わせた。 ・当日の出発時には、不参加生徒の確認に時間を要し、予定より10分程度遅れての出発となった。また、強風により三本槍岳頂上で昼食が取りづかったため、付近の広場で済ませた。 ・天候はおおむね曇りで、周辺が雲で覆われ、霧がかかったように視界がやや狭まる場面があったが、尾根に出てからは晴れ、景色を望むことができた。	・生徒がヘルメットを座下に落としてしまった。 ・体温調節のためにヘルメットを外した際に、手から滑って転がってしまった。	・体温調節のためにヘルメットを外した際に、手から滑って転がってしまった。	・周囲の状況をよく確認し、ヘルメットを外すタイミングを見極める。	問題なし
6	大田原高等学校	親子バレル登山(磐梯山)	磐梯山 (福島県猪苗代町)	令和7年 8月16日	1日 (日帰り)	16名	2名 高梨和幸 小磯怜士	学校集合4:30・学校出発4:40＝(バス)＝猪苗代スキー場着6:50・出発7:15…リフト中継点出発8:00・(体調不良者が)でて約1時間の休憩で様子を見たものの継続は難しいと判断して下山を決断)出発8:55…スキー場入口着9:10…竜ヶ城公園10:00＝(バス)＝11:15会津藩校日新館見学(会津若松市)12:40＝(バス)＝学校着15:05解散	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・予定通り出発したものの、開始早々で体調不良者が。ため、生徒隊、保護者隊とも早い下山となった。 ・実際にはスキー場内の道路を歩いただけなので登山にはなっていない。生徒が16名。それに引率者、OB会、道族、保護者等も加わり総勢36名の参加となった。 ・早い下山となってしまったので、そこから十数キロ離れた会津若松市の会津藩校日新館を見学して帰ることにした。学校からは顧問の他、校長、教頭も加わり、リアルな活動の様子をみることになっていたが、途中下山のリアルな姿になってしまったのが残念だが、計画に則った判断である。 ・帰りがけの見学で、部員たちとちょうど同年代の会津白虎隊の生きざまに触れ、何か思うものがあれば学びのある山行になったと期待したいところである。	①お腹が緩いと報告した生徒が2名いた。1名は学校出発前の報告で、報告があった時点で学校出発前に薬(正露丸等)を飲むように指示し、持参していた薬を飲んだ。もう1名は登山口に到着した時点で報告だった。 ②登山口に到着した時点でお腹のゆるみを報告した生徒が、行動開始後まもなく体調不良を訴えた。 ③衛星携帯電話の手配を忘れた。	①どちらも原因はわからないとのこと。 ②体調不良の原因はわからないとのこと。朝食はランチバックを一袋食べた。下山直後、トイレに行く様子もなかったもので、お腹のゆるみと体調不良は関係ないと思われる。 ③インターハイの準備やお盆期間で8月に入ると事務作業が停止するため、7月中にほぼすべての準備を完了した。また、当初個人所有のスマホで衛星電波に接続できることから衛星携帯電話を持参しない計画を立てていたため、衛星携帯電話の手配を忘れてしまった。(スマホによる衛星電波の接続は文字による緊急連絡で、言葉による接続出来ない山行が許可できないということだったため、後ほど衛星携帯電話を携行する計画に変更した経緯があった)	①まずは登山に向けて体調を管理すること、また、悪くなったら直ちに薬を飲むように話した。 ②原因はいろいろ考えられるだろうが、体力不足も否めない。お盆中、各自トレーニングをするように伝えていたが、自主練では足りないかもしれない。 ③最終確認を念入りにする。集中力が散漫にならないよう計画的に仕事を行うことを心掛ける。	問題なし